

補正予算

平成30年度の当初予算は、102億2,300万円で編成しました。以後、3月までの間に7回の補正予算を編成し、執行してきました。

当年度の下半期では、新規事業として、避難行動要支援者対策事業、保育対策総合支援事業、経営体育成支援事業、社会資本整備総合交付金事業(道路防災 小溝原穂波ノ線他6路線)などを追加し、ふるさと納税推進事業、高齢者と幼児のコミュニティハウス建設事業、学校施設整備事業、定住促進事業などを増額補正し、事業を実施しました。また、中期的な事業計画に基づき、財政調整基金繰入金の減額などを行った結果、補正規模は11億3,950万8,000円になりました。

【平成30年度の一般会計補正予算の経緯】

(単位:千円)

時期	補正号数	補正規模	主な補正内容
6月定例	1号	115,120	歳出面で、保育所等整備交付金事業、高齢者と幼児のコミュニティハウス建設事業、子ども子育て支援事業、子どもの貧困対策事業、保育施設緊急環境整備事業、ふるさとの森林づくり事業、耐震補強設計事業、耐震改修事業、学校施設整備事業、部活動指導員配置事業などを追加、ふるさと納税推進事業、社会資本整備総合交付金事業(南原三領石ほか橋梁保全工事)、唐船城築城800年祭実行委員会事業などを増額
9月定例	2号	401,929	歳出面で、住居表示制度調査事業、農林地崩壊防止事業、町単独林道災害復旧費などを追加、施設型給付費等事業、社会資本整備総合交付金事業(南原三領石線ほか橋梁保全工事)、認定こども園施設型給付費等事業、高齢者と幼児のコミュニティハウス建設事業、大山小学校施設管理事業などを増額
10月専決	3号	1,711	歳出面で、子育て支援課の新設による社会福祉一般管理事業を追加、社会教育総務事業を増額、歳入面で、基金繰入金を増額
12月定例	4号	655,514	歳出面で、避難行動要支援者対策事業、保育対策総合支援事業、経営体育成支援事業などを追加、学校施設整備事業、施設型給付費等事業、伊万里・有田地区医療福祉組合(病院事業会計)負担金、私立保育園支援事業、団体営農村地域防災減災事業、大山小学校施設管理事業、定住促進事業などを増額、歳入面で、国庫支出金、県支出金、繰入金、地方債などを増額
12月専決	5号	110,828	歳出面で、ふるさと納税推進事業を増額、歳入面で、寄附金、基金繰入金を増額
3月定例	6号	△ 168,693	歳出面で、社会資本整備総合交付金事業(道路防災 小溝原穂波ノ尾線他6路線)を追加、国民健康保険事業、高齢者と幼児のコミュニティハウス建設事業、社会資本整備総合交付金事業(南原三領石線ほか橋梁保全工事)などを増額、介護保険事業、児童手当事業、伊万里・有田地区衛生組合事業などを減額、歳入面で、使用料及び手数料などを増額、国庫支出金、基金繰入金、地方債などを減額
3月専決	7号	23,099	歳出面で、ふるさと納税推進事業を増額、歳入面で、寄附金、基金繰入金を増額
計		1,139,508	

※「定例」は定例町議会、「専決」は専決処分によることを示しています。